

【科目名】		心理的アセスメント	【担当教員】	川原 正弘	
【授業区分】	専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)  (オフィスアワー) 11:00～13:30 (月曜日～木曜日)		
【開講時期】	前期	【選択必修】			必修
【単位数】	1	【コマ数】			15
【注意事項】					
(受講者に関わる情報・履修条件)					
「臨床心理学概論」など心理学の科目を履修していると、本講義の内容の理解が深まります。 この科目は実務経験者対応科目である。					
(受講のルールに関わる情報・予備知識)					
テキストとなるプリントを配布します。 講義中に関連する文献を紹介するので、購入もしくは図書館で借りるなどして読んでください。 テストなどは原則として返却しません。					
【講義概要】					
(目的)					
この科目は公認心理師養成のための必修科目である。 以下の～を中心に、公認心理師として必要なトピックを理解する。 心理的アセスメントの目的及び倫理、心理的アセスメントの観点及び展開 心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)、適切な記録及び報告 当該科目と学位授与方針等との関連性；A-1,2、R-1,2,3					
(方法)					
毎回、プリントや資料を配布する。 心理学的アセスメントの各トピックについて、具体例を挙げながら解説する。					
【一般教育目標(GI0)】					
心理検査の適応及び実施方法について説明でき、正しく実施し、検査結果を解釈することができる。 生育歴等の情報、行動観察及び心理検査の結果等を統合させ、包括的に解釈を行うことができる。 適切に記録、報告、振り返り等を行うことができる。					
【行動目標(SB0)】					
心理的アセスメントに有用な情報(生育歴や家族の状況等)及びその把握の手法等について概説できる。 心理に関する支援を要する者等に対して、関与しながらの観察について、その内容を概説することができ、行うことができる。 心理検査の種類、成り立ち、特徴、意義及び限界について概説できる。					
【教科書・リザーブドブック】					
テキストとなるプリントを配布する。					
【参考書】					
一般財団法人日本心理研修センター 監修 『公認心理師現任者講習会テキスト』 金剛出版(3,800円+税) 下山晴彦 『臨床心理アセスメント入門』 金剛出版(3,200円+税) 津川律子 『精神科臨床における心理アセスメント入門』 金剛出版(2,600円+税)					
【評価に関わる情報】					
(評価の基準・方法)					
成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 定期試験を実施する。 出席点は評価に含みません。					

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		90						10	100
評価指標	取り込む力・知識	50							50
	思考・推論・創造の力	40							40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1.2	面接法について 構造化面接・非構造化面接	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
3.4	面接法について 心理面接の進め方、面接の中で用いられる技法	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
5.6	観察法について 自然観察法と実験観察法について	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
7.8	観察法について 参与観察法と非参与観察法について	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
9.10	心理検査法について 質問紙法について (Y-G性格検査、MMPI、MPI、Big Five Test、エゴグラム)	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
11.12	心理検査法について 投映法・作業検査法について (ロールシャッハテスト、SCT、TAT、P-Fスタディ、バウムテスト、内田クレペリン精神作業検査)	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
13.14	検査法について 知能検査・発達検査について (ウエクスラー式知能検査、ビネー式知能検査、K-ABC、新版K式発達検査、遠城寺式乳幼児発達検査)	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90
15	検査結果の記録と報告	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	90

